

留学だより Vol.2

皆さんこんにちは。オーストラリアに留学中の加塩です。早いもので、留学してから1か月以上が経過しました。学校に行き始めて数週間、現在の様子をお伝えしていきます。

学校について

私の通う学校はインターナショナルスクールで、日本人留学生が私を含め7人います。日本だけでなく、様々な国のルーツを持つ生徒がいます。初めてできたお友達は、ポーランド出身。かわいいです。

校舎は広く、初めのころはよく迷子になっていました。おかげで助けてくれた上級生と仲良くなりました。メインの校舎のほかに、売店、体育館、技術室、図書館、ラボなどの建物があり、授業が終わる度に外へ出て、違う建物に移動します。



本校舎



こちらが Slush です

一日の授業は50分または55分×6コマで、水曜日だけ5コマです。2時間目と3時間目の間に20分、4時間目と5時間目の間に40分の休憩時間があり、食事やお話、スポーツをする人もいます。食事は持ってきている子もいれば、売店で買う子もいます。売店は種類が豊富で、行くたびに食欲をそそられます。何度か利用しました。「Slush」という、かき氷の液体バージョンのような飲み物がお気に入りです。暑い日に飲みたくなります。

こちらはアイスクリーム。
色からソーダ味を想像しましたが、
以外にもミルクのような味でした。



授業

Year11 に入ると聞いていたのですが、Year10 に入ることになりました。オーストラリアは新学年が1月に始まるので、Year10の子たちはほとんど2007年生まれ、年下です。Year10では、英語・数学・理科・体育・PLP (Personal Learning Plan) が必修で、他教科は音楽・演劇・料理・中国語・材料技術・先端技術・ビジュアルアート・歴史・ダンスの中から三つ選択します。私たち留学生は、オリエンテーションの日に「興味のあること5つくらいを紙に書いて」と言われ、気がついたら時間割が出来上がっていました。私は音楽・材料技術・歴史を選択しています。それぞれ、教科ごとに授業の様子をご紹介します。

英語

English

留学生向けの英語クラスを設置している学校もあるようですが、私の学校では、みんな一緒に英語の授業を受けます。先生が講義をした後、課題が配信され、それに取り組むという形です。文法や語彙を習うということはほとんどなく、インタビュー内容をまとめたり、記事を書いたりなど、実践的な課題が中心です。突然ネイティブレベルの課題をこなすのはやはり難しく、家で何時間も苦戦しています。



英語の授業を受けている校舎

数学

Mathematics

利子の計算について学んでいます。講義がはじめ何コマかあった後、ひたすら計算問題を解く授業が続きました。現在は応用課題に取り組んでいます。練習問題は、日本の数学に比べるととても簡単なのですぐに解き終わってしまい、先生に伝えると、違う問題をもらえるようになりました。微分積分の問題です。問題の意味を理解するところから始まります。知らない単語ばかりで難しいですが、理解できると嬉しくて楽しいです。現在取り組んでいる応用課題というのは、「ギャップイヤーを設けて海外旅行をする場合、いつ行くのが最適かを、アルバイトの収入や資金の運用、旅行予算などを考慮して求めよ」というものです。実践が重視されていますね。

理科

Science



中国語教育を重視していて、
中国の飾りが校舎の各所に
見られます

遺伝子について学んでいます。講義が何度かあり、現在は課題に取り組んでいます。遺伝病について調べる課題や、シナリオを読んでジェネティックカウンセラーとして質問に答える課題などです。これもまた、意味を理解するのが難しいです。単語の意味は分かっても、結局何を答えるのが正しいのか、読み取るのにすごく苦労します。でも、完成して英語がびっしり書かれた自分のレポートを見ると、達成感に満ち溢れます。実験も時々行います。キウイの DNA を抽出するという実験をしました。実験は楽しいですが、その実験について振り返るという課題が出るので再び課題に追われます。

保健体育

Health & Physical Education

保健体育は週に 4 時間あり、体育はそのうちの 3 時間、保健は 1 時間です。体育では、先週までホッケー、今週からバレーボールが始まりました。クラスによって内容は違うようで、ゴルフを行っているクラスもあるようです。広いグラウンドならではですね。人生初のホッケーはとても楽しかったです。授業二回目くらいから試合が始まりました。パック（円盤状の、球技におけるボールのようなもの）を追うのは楽しいですが、キーパーには向いていなさそうです。その日最高の 5 失点をマークし、初めてブーイングというものを浴びました。逃げ出したかったです。現在はバレーボールの授業で、バレー部の意地を見せようと張り切っています。私の友達みんなバレーボールが好きで、和気あいあいとしていてとても楽しいです。保健では性教育が行われています。ジェンダーとは何か、男性と女性の持つ Power の違い、パートナーとの関係などについて学びました。

Personal Learning Plan

留学生のため履修していませんが、時間割が完成する前に 1,2 回ほど体験しました。自身の将来の目標を定め、そのためのプランを設計するというものです。将来設計が一つの授業として行われています。

音楽

Music

基礎知識の講義やワークブックに取り組む時間が主です。講義は、音符や拍子の説明など、本当に基礎の基礎なので少し退屈ですが、先生が面白いので好きです。突然歌いだしたり、音楽について熱烈に語り出したりします。授業は週に四回あって、水曜日は二時間続きです。後半一時間は音楽室にある楽器を自由に弾くことができます。ソロの発表が今月にあるので、その練習をします。私はピアノを弾く予定です。

材料技術

Material Technology

材料技術では主に、木材加工について学びます。今年度中に机かスツールを作るようで、それに関する課題が出されました。使用する木材が環境に及ぼす影響や、その対策を調べる課題です。現在は、机・スツールの前段階として加工の練習をするため、まな板を作成しています。技術室にはたくさんの大型機械があって、初めて扱うものばかりでワクワクします。まな板はかなり大きいので、日本には持って帰れなさそうです。ホストファミリーへのプレゼントになるでしょう。

歴史

History

第二次世界大戦について学んでいます。現在はグループワークと個人の課題を並行して行っています。グループワークは、大戦中の大きな出来事が、班ごとに割り振られ、グループで調べて発表するというものです。私の班は大西洋の戦いについて調べています。個人の課題は、ホロコーストの資料を分析し、まとめるというものです。期限に追われています。

最後に

日本の学校と異なる点はたくさんありますが、ここで二つ、大きな違いを取り上げたいと思います。1つはITの利用です。生徒は皆、自身のラップトップを持参し、ほとんど毎授業と言っても良いほど、頻繁に利用します。課題や時間割、教師からの指示を見るのに使います。学校に通って一か月ほど経ちますが、配られたプリントは合計2枚ほどです。個々で課題に取り組む時間が多いので、パソコンがないと本当に何もできません。2つ目の違いは、教室です。日本の学校は、一人一つ机があって、全員前向きというのがスタンダードだと思いますが、こちらの学校では、大きいテーブルに数人で座るようになっています。席は定められておらず、好きな席に座ることができます。おかげで授業中の発言がしやすい気がします。賑やかすぎることもあるので、良いことばかりではないですが。

最後まで読んでくださりありがとうございます。もう3月ですね。次の留学だよりは4月になります。時が過ぎるのは本当に早いものです。次回もお楽しみに。